

「外国語学習のめやす」  
コミュニケーション能力指標のための  
中国語文型リスト  
およびそのフォーマットと作成手順の体系化

山崎直樹（関西大） 植村麻紀子（神田外語大） 鈴木慶夏（釧  
路公立大） 中西千香（愛知県立大） 西香織（北九州市立大）

言語教育エキスポ2015（早稲田大学, 2015.3.15）

# アウトライン

- 〈めやす〉とは何か
- どのような文型リストを作ろうとしているのか
- なぜ文型リストが必要か
- 作成手順と文型リストのフォーマット
- このリストの貢献と新しい点

# 〈めやす〉とは

- 『外国語学習のめやす: 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言』 (国際文化フォーラム)

# 新しい外国語教育の枠組み

- 「総合的コミュニケーション能力」の獲得
- 「理念」～「教授法の提案」～「教材の例」

# さまざまな提案

- 主題中心の単元構成
- 「成果物」をゴールにする
- ルーブリックによるパフォーマンス評価
- ポートフォリオによる成績評価
- etc.

# 総合的コミュニケーション能力(1)

3x3の能力

	言語領域	文化領域	グローバル 社会領域
わかる			
できる			
つながる			

# 「つながる」

- Social Networking Approach
- 「コミュニケーションの究極の目的は人的ネットワークを作り上げること」（當作靖彦）

# 総合的コミュニケーション 能力(2)

## 3つの連携

関心・意欲・態度／学習スタイルとつながる

既習内容・経験／他教科の内容とつながる

教室外の人・モノ・情報とつながる

# コミュニケーション能力指標

- 15の話題領域
- レベル1～4のCan-do能力記述文

# どのような文型リストを

- 言語構造に関するどのような知識（文型、語彙）を学習項目として取り上げればよいのか？
- また、それをどうやって決めるのがよいのか？

# 我々の提案

- 「能力指標」から出発した文型リストの具体例
- フォーマット
- 作業手順

# なぜ作らねばならないか(1)

- 〈めやす〉の指標のようなCan-do能力記述文から、すぐには授業を設計できない

# なぜ作らねばならないか(2)

- ・ タスクが提示されていても、そこから必要な言語表現を選定し、それをどう学習者に提示するかを考えるのは時間がかかる。

# なぜ作らねばならないか(3)

- Can-do能力記述文と授業設計をつなぐためのタスクを、ある教師が考案しても、それが共有されにくい。
- また、共有されても、他の教師が言語表現に関して具体的に何をやっているかは、完全には推測できない。

# 作業手順とフォーマット

- 1.タスクに分解する
- 2.言語表現の抽出
- 3.定項と変項の決定
- 4.語彙リストの作成

# タスク分解

- **指標**：自分の好きな食べ物、嫌いな食べ物、食べられないものなど、料理名や食品名を、口頭で伝えることができる（話題領域：食、レベル1)

# タスク分解

- **タスク** :

1. 好きな／嫌いな食べ物・飲み物を伝える。
2. ふだんの生活で食べないものを伝える。
3. 何らかの理由で食べられないものを伝える。

# 〈証拠〉のためのタスク

- 「指標に対し、タスクを設定する」
- 「これらのタスクを遂行できることが、この能力が身についている**証拠**であると考える」

# 言語表現の抽出

〈めやす〉の 3モード	提示的コミ ュニケーシ ョン	解釈的コミ ュニケーシ ョン	対人的コミ ュニケーシ ョン
我々の文型リス ト	伝える	理解する	やりとりす る

# 「やりとり」は必要

タスク	言語表現	モード
何かの症状を呈している人に対し、薬を持っていると伝える	我有药。	伝える
症状を言って薬を持っていないか尋ねる／答える	我感冒了，有没有药？ —有。 / 对不起，没有。	やりとり

# 定項と変項の決定

変項	表現例 ( <b>緑色</b> 部分が変項)	文型
3	我 在 <b>大学</b> 学 <b>汉语</b>	〈ヒト〉 在 〈学ぶ場所〉 学 〈学ぶ対象〉
2	我 在 <b>大学</b> 学 <b>汉语</b>	我 在 〈学ぶ場所〉 学 〈学ぶ対象〉
1	我 在 <b>大学</b> 学 汉语	我 在 〈学ぶ場所〉 学 汉语
0	我 在 大学 学 汉语	我 在 大学 学 汉语 ( <b>定形表現</b> )

# 語彙リスト

変項1		変項2	
我 在	<b>〈学ぶ場所〉</b> 大学 高中 .....	学	<b>〈学ぶ対象〉</b> 汉语 英语 数学 .....

# コミュニケーションと 結びついた語彙

- 特定の領域の特定のレベルの特定の指標の  
特定のタスクと関連づけられる

# 貢献～共有リソース

- 同じクラスを担当する教師間で連携をとる
- 複数の教師が教材を共同で開発する
- そして異校種間（中学・高校・大学）での連携
- タスクは、言語を超えて共有するリソース

# 新しい点

- Can-doのブレイクダウン → タスク → 証拠
- 語用論的・社会言語学的な能力の育成
- スタンダードズに基いている
- 会話でないと出てこない特殊な形、方略的な応答
- 言語構造の学習の難易度をコントロール